

令和7年度関東高等学校水泳競技大会水球競技【戦評】

会場：埼玉県立大宮公園屋外水泳場【2025/7/20】

この試合のプレー集計

準々決勝4

幕張総合

7

2	—	4
3	—	3
0	—	6
2	—	6

19 明大中野

PSO
中哲朗

審判:

田原忠雄

幕張総合	20	SH数	41	明大中野
	4	速攻数	14	
	6	ST・SB	13	
	8	SH・P誘発アシスト	12	
	41%	GK阻止率	53%	
	12	EX反則数	7	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

準々決勝第4試合、関東からのインターハイ出場枠の最後を決める、東京1位・明大中野と千葉1位・幕張総合の一戦。明大中野側優位は動かないが、近年、力をつけてきた幕張総合をかなり警戒していた明大中野。幕張総合としては、そうした隙を突いて接戦に持ち込みたいところ。

<1P>

明大中野のセンタボールからの攻撃で、幕張総合側のDFが十分ではなく、②武田がシュート。しかしそこを決めることができず、幕張総合側の右サイド展開攻撃。そこで⑧近藤が退水を誘発し、③広岡が決めて幕張総合が先制点。その後も、1-1同点からも幕張総合が右サイド展開攻撃で、右ポスト際から⑧近藤が決め、幕張総合2-1明大中野とピリオド序盤は幕張総合が主導権を握った。こうした右サイド展開を粘り強く継続できるかが幕張総合の課題。ピリオド中盤に、右サイドでボールを奪われると、その後はほとんど左サイドにボールが偏る攻撃になり、パスコースを容易に読める明大中野DF、さらに審判にも熟視される形でコントラ反則やミスが続出。そこから明大中野の怒涛の攻撃を許す展開となった。特に、明大中野のエース②武田が再三のシュートチャンスとなったが、幕張総合GK①田鎖の好セーブもあって、明大中野がなかなか加点できない状況になった。しかし、幕張総合ボールを奪ってから明大中野攻撃では⑤吉岡が確実に決めて、幕張総合2-4明大中野で第1ピリオド終了。明大中野が試合巧者らしく優位ではあったが、12本SHで4点、そのうち幕張総合GK①田鎖の5セーブという決定力不足が目立った。

<2P>

幕張総合センターボールからの攻撃も、センター位置でコントラ反則。そこを明大中野が突いて⑤吉岡が決めて5点目。そのまま明大中野がペースを掴むかと思えたが、相変わらずのシュートミスが続き、幕張総合側にもチャンスが回るという一進一退。幕張総合側の攻撃も、ほとんど右サイド展開は消失していたものの、明大中野DF戻りのやや緩慢なプレーなどから幕張総合③広岡や②阿部が決める形で、幕張総合5-7明大中野で前半を折り返した。ここまで明大中野SH数が21本、幕張総合GK①田鎖の9セーブという状況。幕張総合側には願ったような展開であるが、ゲーム序盤で見たような右サイド展開からの得点ではなく、明大中野DF側のミスによる得点ということで、明大中野側の修正次第で後半は突き放されかねない状況だった。また、幕張総合側ベンチは審判判定に不満を示していたが、攻撃時のボール展開が同じサイドになれば、審判からは熟視できる形になり、その分、オフENSE反則判定につながりやすいものがある。ボールが大きく展開すれば審判の目も動くわけで、こうしたこともプレーに影響していることを覚悟しなければならない。

<3P>

明大中野側は前半でのミスを修正する能力があるチーム。案の定、まずはDFが安定し、幕張総合側ボール展開を十分に読み切る状況となった。幕張総合側はほとんど攻撃の形を作ることができず、幕張総合側SHは3本。ほぼすべてが苦し紛れでのSH。逆に、明大中野側は攻撃に余裕ができたことから、②武田が3連続得点で一気に突き放した。その後も⑤吉岡などで計6得点。対する幕張総合側は無得点に終わり、幕張総合5-13明大中野と一気に差が広がった。その中でも幕張総合GK①田鎖は4セーブして、何とか踏みとどまった形だ。ピリオド終盤には明大中野は1年生にも出場機会を与える余裕の展開。

<4P>

試合そのものは第3ピリオドで決まった形で、このピリオドは幕張総合2-6明大中野とさらに差が広がって試合終了(合計:幕張総合7-19明大中野)。この試合、シュートが決まらな過ぎた明大中野②武田は、シュートに行かずにボール保持したままボール前に移動してペナルティ誘発。彼らしい修正能力を披露したプレーが印象的だった。そうしたプレーに代表されるように、このピリオドでは明大中野シュートを幕張総合GK①田鎖に止められることもなく、6点を追加した。

結果的には明大中野が順当勝ちしてインターハイ出場を決めたわけだが、幕張総合としては多少失敗しても粘り強く右サイド展開攻撃を継続していれば、もっと接戦に持ち込めた一戦であった。逆に、明大中野側はいつもの自分たちの右サイド展開からのパス回しでの崩しが影を潜め、単調なシュートに頼る展開で序盤の苦戦の原因となったことを今後の反省材料にできるか。